



NPO法人 北海道海浜美化をすすめる会

海浜美化フォーラム2022

道民カレッジ連携講座

3月27日(日)

13:00 開場

13:30 開始



講演 演題 「海の変貌と私が感じること」

藤田 尚夫氏 (Zemhouse・Sealionsclub 代表)

パネルディスカッション

コーディネーター : 清水 敏行氏 (札幌学院大学教授・当会理事)

パネリスト : 綿路 昌史氏 (カラカネイトトンボを守る会理事長)

: 神保 美渚氏 (北海道大学 獣医学院 環境獣医科学講座)



藤田 尚夫氏

紹介: 40年にわたり、北海道遺産になっている積丹半島を活動拠点として道内外はもちろん、海外の海にも潜水経験が豊富。地球の環境を海中から観察し保全してきた第一人者。特に海獣保護の先頭に立つ

2022年2月2日、20220202に私は69歳を迎えました。45年間北海道の海の中を観察し、水中を撮影してきた映像をあらためて見直す時間が出来ました。コロナ禍の影響でお客様が激減したために海がどう変わったのか振り返る貴重な時間を与えてくれたと思います。海が気づかせてくれたのはどんなことなのでしょう。急激な変化はその瞬間にわかりますが、何年もかけて少しずつ、ゆっくり変化していることはそう簡単には気づかないのだと思います。海がどのように変わったのか、その原因にはどのようなことが考えられるのか、そして私たちが感じたことをどのように形にしてゆくことが出来るのかについて、参加いただきました皆さんと談話させていただきたいと思えます。概要●海の中にはどんな生き物たちがいるのか。●生き物たちにどんな変化が起きているのか。●海で私たちはどんなことしてきたのでしょうか。●私たちに出来ることはあるのでしょうか。※映像をご覧ください。

場所 札幌市環境プラザ 環境研修室 1
(札幌エルプラザ 2階 札幌市北区北8条西3丁目)

参加費 会員500円 一般500円 学生(道民カレッジ生含む)300円

定員 400名 (申込必要、定員になり次第しめ切り)

主催 NPO法人北海道海浜美化をすすめる会

後援 北海道、札幌市 連携講座:道民カレッジ(3単位手帳必要)

協力 ダイビングショップゼムハウス、カラカネイトトンボを守る会

札幌学院大学、北海道自然保護協会、北海学園Pコネクション、放送大学北海道同窓会

申し込み・お問い合わせ 事務局 FAX 011-215-8468

e-mail hamabika2001@gmail.com info@hamabika.org 携帯電話で090-2058-4453



パネリスト

綿路 昌史 氏

NPO法人カラカネイトトンボを守る会 理事長

発表概要

よく見かける赤トンボ。しかし、気候変動や農薬などの人間の社会活動によって、トンボ相の種多様性や種類構成が変化してきている。トンボたちは私たちにメッセージを送っている。それを私たちはどうやって受け取り、どう読み解いていったら良いのだろうか。



カラカネイトトンボを守る会

札幌市北区あいの里地区を中心に、篠路福移湿原の保全・保護活動をはじめ身近な自然を守る活動をしています。残された貴重な自然を未来の子供たちに残すため、貴重な湿原を守るためのナショナルトラスト運動をしています。

認定非営利活動法人 カラカネイトトンボを守る会～あいあい自然ネットワーク～

研究発表

神保 美渚 氏 (北海道大学 獣医学院 環境獣医科学講座 野生動物学教室 博士課程)

発表テーマ 「海獣と餌生物との関係について」

概要

「環境収容力」とは、環境中の資源が支え得る個体群の大きさを指す言葉です。餌となる資源が少なくなれば、そこで生きていける生物も少なくなるという当たり前の事象を意味しています。トドをはじめとする海獣と漁師は同じ海に生きる者として、長らく北海道の海の恵みを楽しんできました。常に変わりゆく海において、彼らはこれまでどのような道を歩み、そしてこれからどのように生きていくのでしょうか。水産資源漁獲データをもとに海獣と漁業の歴史を俯瞰し、考えます。

コロナウイルス感染防止のため

フォーラム開催にあたり、主催者として感染防止対策(ソーシャルディスタンスの徹底、換気など三密を避ける)を取って開催しますが、参加者の皆さまもマスクを着用し、感染予防対策を各人で行ってください。又、体温37度以上ある方、2週間以内に37度以上発熱した方は参加をお断りする場合があります。尚、ゴミは各人でお持ち帰りください。